

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.512

日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告
発行日：2016年2月17日（水）
事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6



予算議会に向けての予算懇談会を開催

市民のくらし第一の予算に

日本共産党横浜市議団は10日、2016年度予算議会に向けての市政懇談会を市役所内で開き、約80人の市民が参加しました(写真下)。

はじめに、私・大貫が2016年度横浜市予算の特徴を説明しました。

まず、防災用屋外スピーカーの設置、寄り添い型学習支援の全区実施や、放課後児童クラブの常勤職員の処遇改善など、市民が声を上げ、議会できりあげてきたことの一部が実現・前進したことを紹介しました。

(2面へ)



無料法律相談

2/18・3/3(木)

予約制 (大貫)
090-5311-1879

子育て、防災、介護…多くの要望

(1面より)

しかし、依然として予算の使われ方が高速道路や山下ふ頭再開発など大型開発中心に偏っており、林市政の正体からは「アベノミクスの忠実な実行者であることが透けて見える」とした上で、「市民の暮らし第一に予算が組まれるよう力を尽くす」と決意を述べました。

次いで、会場から多くの発言がありました。

子育て・教育分野では、「小児医療費の対象年齢の拡大は歓迎だが、一部自己負担は納得できない」「中学校給食はいつになったら実現するのか」などの意見や質問が出されました。

崖や防災対策についての質問が出され、岩崎議員は「横浜市内に

調査を必要とする崖が約9,800か所あり、全部調査する予定だが、該当箇所が多く『民地』であることから、困難も多い」と報告しました。

介護の問題では、「介護離職ゼロを国が打ち出しているが、それが実行されるように横浜市の予算が組まれているのか。施設を増やしても、そこで働く人がいなければ意味がない。人材の確保対策をとってほしい」「賃貸住宅に独居暮らしの高齢者が増えている。長期入院などで住まいの問題が深刻化する。対策をねってほしい」等の質問・要望が出されました。

墓地開発の問題では、「このままでは墓地だらけになる。条例に歯止めがない。住民合意も自然保護の観点もない。ぜひ条例の改善を迫ってほしい」等の要望が出されました。

議会のお知らせ

傍聴をお待ちしております！
インターネット中継もどうぞ！

(議員名は日本共産党横浜市議団の発言予定者)

2月24日(水) 本会議：一般議案議決 (討論：北谷まり議員)

予算代表質疑 (大貴憲夫議員)

2月26日(金) 本会議：予算関連質疑 (岩崎ひろし議員)

2月29日(月)～3月24日(金) 予算特別委員会

3月25日(金) 本会議：予算・請願議決

(予算討論：かわじ民夫議員、請願討論：宇佐美さやか議員)

シリーズ『あおば子育て事情』(185)

高校生平和ゼミ

江口 寛

12月19日の「戦争法廃止、青葉、都筑、緑区連絡会」での白神優理子弁護士の講演からは参加者一同、大きな元気をいただきました。白神さんは、「高校生平和ゼミナール」で戦争体験者に学び、日本国憲法の真髄に触れ、弁護士になろうと決意したそうです。

その「高校生平和ゼミナール」の「つどい」の準備が進んでいます。

◎名称 東日本大震災・福島原発事故から5年、憲法・核被災・沖縄を学び交流する高校生平和のつどい

◎日時 3月20日(日) 1:30~

◎場所 利光'ック記念青少年総合センター(小田急線参宮橋駅7分)

◎日程

1:40~ 3・11以降の高校生平和ゼミ

2:00~ 講演「原発事故って何だったのか」後藤政志さん(原子炉格納器の設計に携わった技術者)

2:50~ リレートーク 福島・広島・沖縄など参加県からの発言

3:30~ 分科会

①被災地のいま、原発・ヒバクシャ

②米軍基地・沖縄戦

③安保法制・自衛隊・テロ

④18歳選挙権

⑤学費・教育

5:15~ 分科会報告、閉会集会

7:00~ 映画『種まきうさぎ』(宿泊もできます)

3月21日(月・休日) フィールドワーク 東京大空襲戦災資料センター 12時ごろ解散

※お知り合いに紹介してください。



予算代表質問の傍聴を



2月2日から3月25日まで2016年第1回横浜市議会が行われています。私は24日、団を代表して予算代表質問で登壇します。是非、傍聴に来てください。

市長の政治姿勢、中期4か年計画の収支、女性や子どもの貧困対策、平和問題などを取り上げるつもりです。その準備のため、写真のように控室でパソコンに向かって頑張っています。

市長と昼食
懇談会

貧困対策を進める予算へ

日本共産党横浜市議団と林文子市長らとの昼食を共にしながら2016年度予算案について意見交換する懇談会が2月10日、横浜市役所市長応接室で行われました。

予算審議を前にして例年行われるもので、党市議団からは私・大貫憲夫、岩崎ひろし、あらかき由美子、白井まさ子、古谷やすひこ、かわじ民夫、みわ智恵美、北谷まり、宇佐美さやか議員が参加しました。当局からは林市長、渡辺巧教、鈴木伸哉、柏崎誠の3人の副市長らが参加しました。

もちろん弁当代は自前で1,200円。いつもの私の昼食代650円より豪華でした。

冒頭のあいさつで、市長は、今回の予算の特徴を説明し、「これからも懸命に市政に取り組んでいきたいので、今後ご協力と厳しいご指摘をお願いしたい」と述べました。



市長との懇談会であいさつする私・大貫＝横浜市役所市長応接室、10日

団を代表して私・大貫があいさつし、6人に1人の子どもが貧困状態にあること、ひとり親家庭にいたっては、半数の子ども達が貧困状態におかれている現状を紹介し、横浜市としてしっかりとした対策が求められる予算議会だと指摘しました。その上で、文化芸術に子どもたちがふれて、生き生きと暮らしていく横浜にしていくよう求めました。



メダカの独り言 24節気の一つの「雨水(うすい)」は、2月19日頃。雪や氷が水にかわり、草木が芽生える頃で、昔から農耕にとって大事な目安の一つです。自然を生かし生かされる農業。季節を肌で感じられる仕事って良いですね。(K)